

6. 関川の川づくりの進め方

6. 1 地域と連携した河川の管理

市民団体、非営利機関(NPO)、地域住民及び市民ボランティア等の協力を得て河川の維持管理を行うため、地域住民等と連携しながら以下の取り組みを行っていく。



関川クリーン作戦

(1). 地域住民による川での社会貢献活動の支援

河川管理者と地域住民を繋ぎ多様な主体の自主的運営を司る人材育成の支援を図り、地域住民等の川での社会貢献活動を支援していく。その際、地域住民が積極的に河川管理に参加できるよう、河川愛護モニター制度等を積極的に活用する。

(2). 関川を核とした人的ネットワークの構築

また、上流地域に住む人と下流地域に住む人たちの交流等、川を中心としたネットワークを構築し、関川の歴史・文化を継承していくとともに、水害を経験した人が持っている水害から身を守る為の知識等、“先人の知恵”を伝承していくため、関係機関と連携を図りながら人材の育成に取り組む。

(3). 河川愛護の啓発

水源から海岸に至る一連の河川環境の保全や川の安全、美化に対するモラルの向上を図り、川のより良い利活用を促進するため、学校教育や自治体広報誌、地域住民の参加による河川清掃等を通じて河川愛護意識の啓発を進める。

(4). 継続的な地域住民の意見把握

今後も、地域に根ざしたよりよい川づくりを進めるため、河川の現地見学会、シンポジウム等を積極的に開催し、地域住民の方々の意見聴取に継続的に取り組む。



第2回関川流域フォーラム
(平成18年10月29日)



関川水辺クラブ主催による関川ウォーク